

【現代法学部】2024年度卒業時アンケート

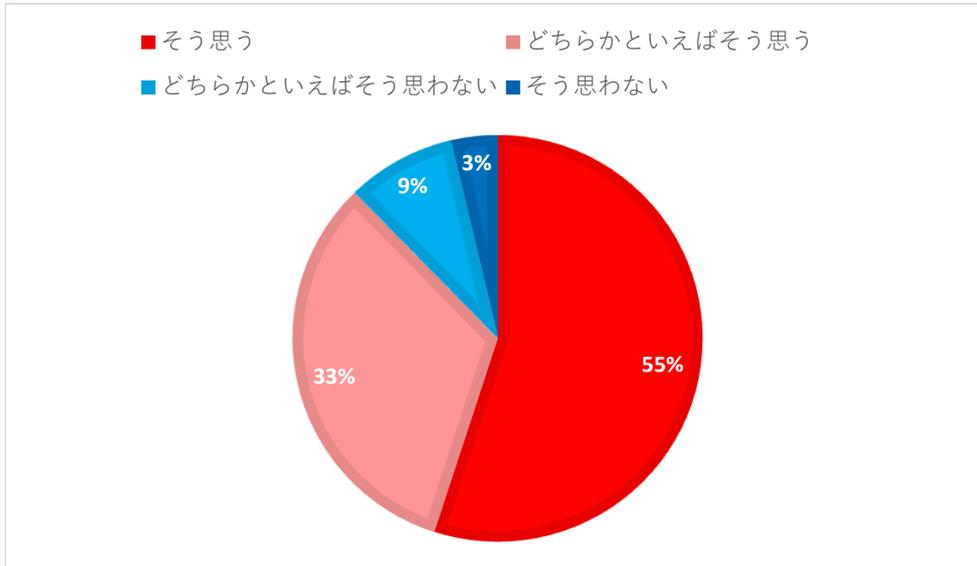
調査対象：2024年9月卒業生 2名、2025年度3月卒業生 244名

調査期間：2024年9月2日～9月30日、2025年3月3日～3月31日

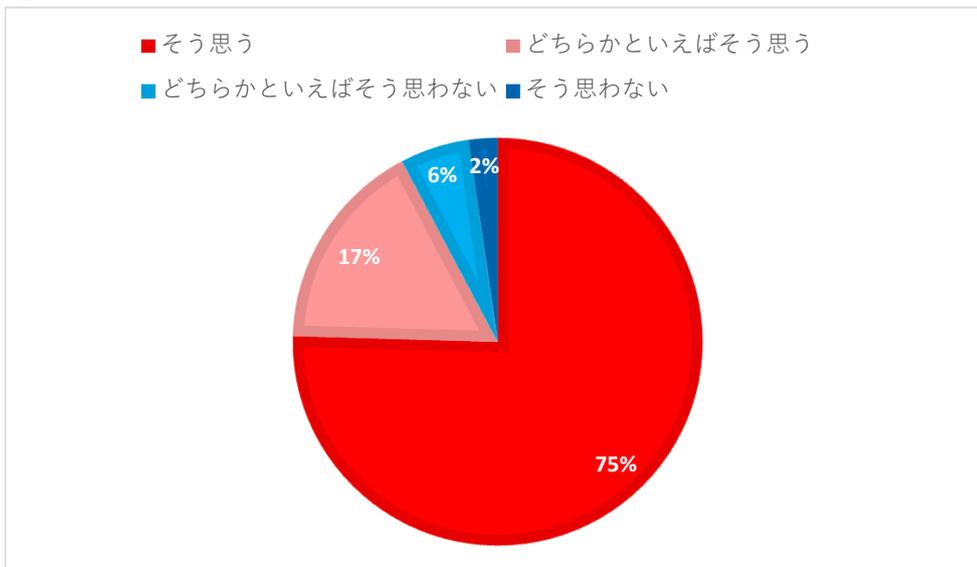
回答数：220件

回答率：89.4%

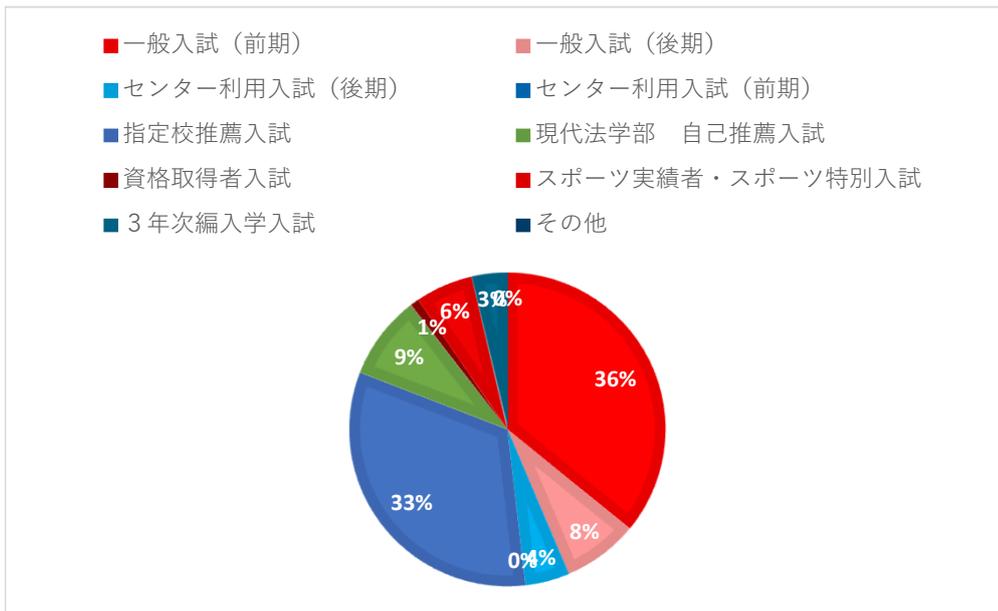
Q1.東京経済大学は入学を希望していた大学でしたか？



Q2.現代法学部は希望していた学部でしたか？

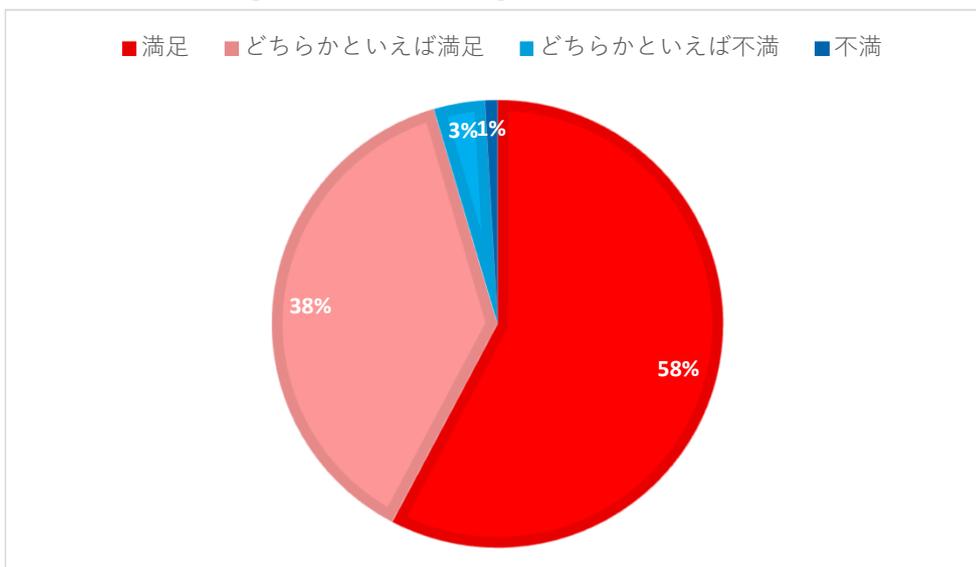


Q3.あなたが入学を決めた際の入試種別を教えてください。

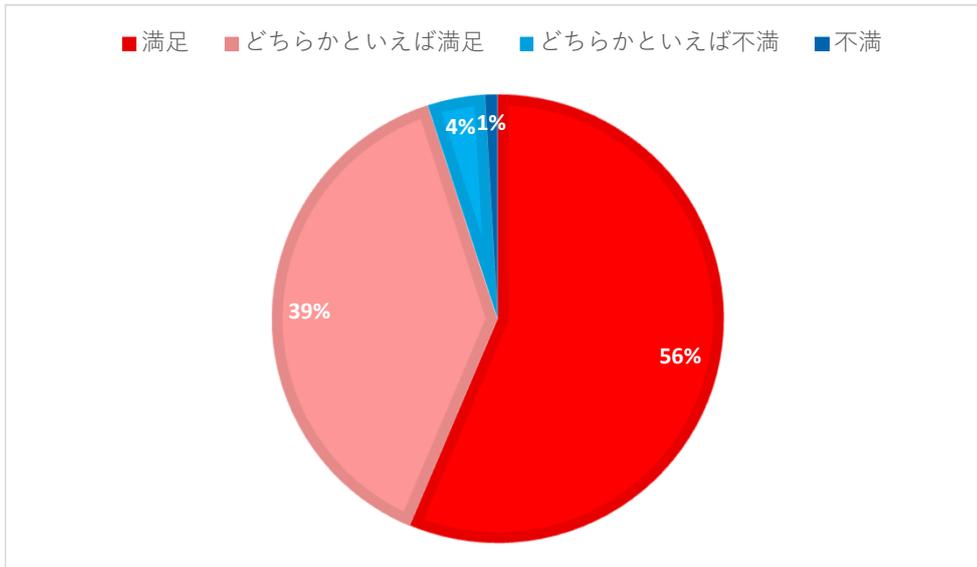


Q4.入学後の総合的な満足度をお答えください。

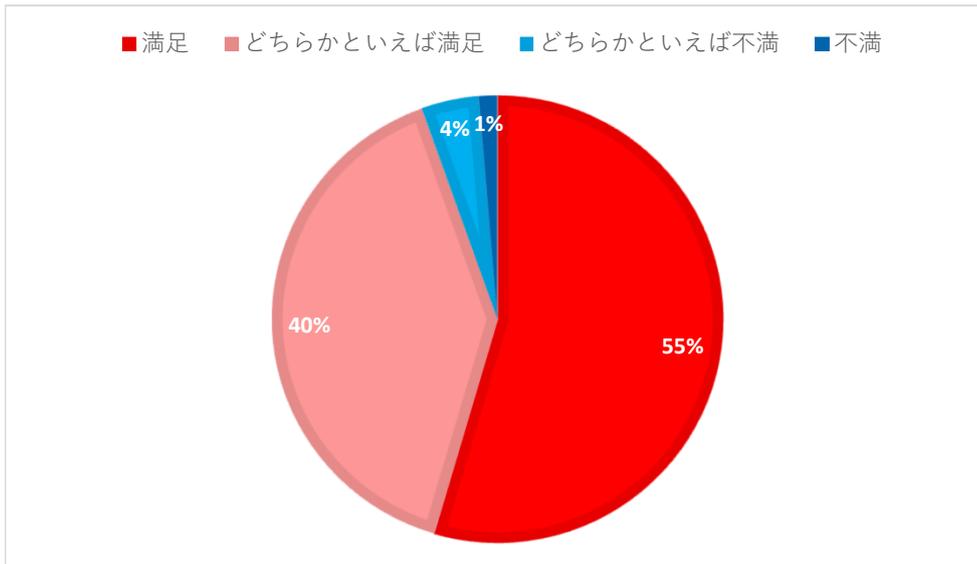
●学部の専門分野[法律、政治・行政]に係る教育



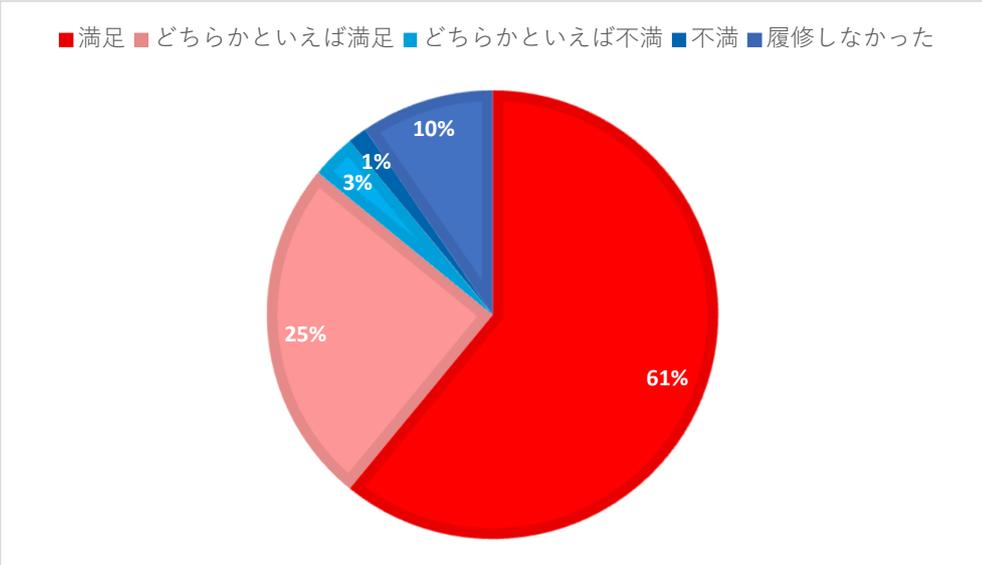
●総合教育科目に係る教育



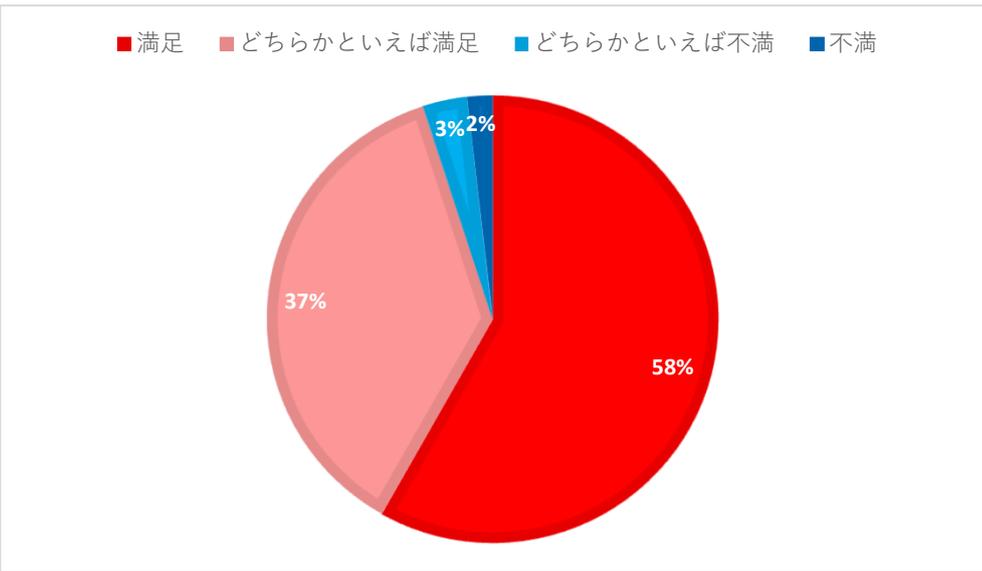
●「演習以外の演習系科目（大学入門、社会・法学入門、基礎演習Ⅰ・Ⅱ）」



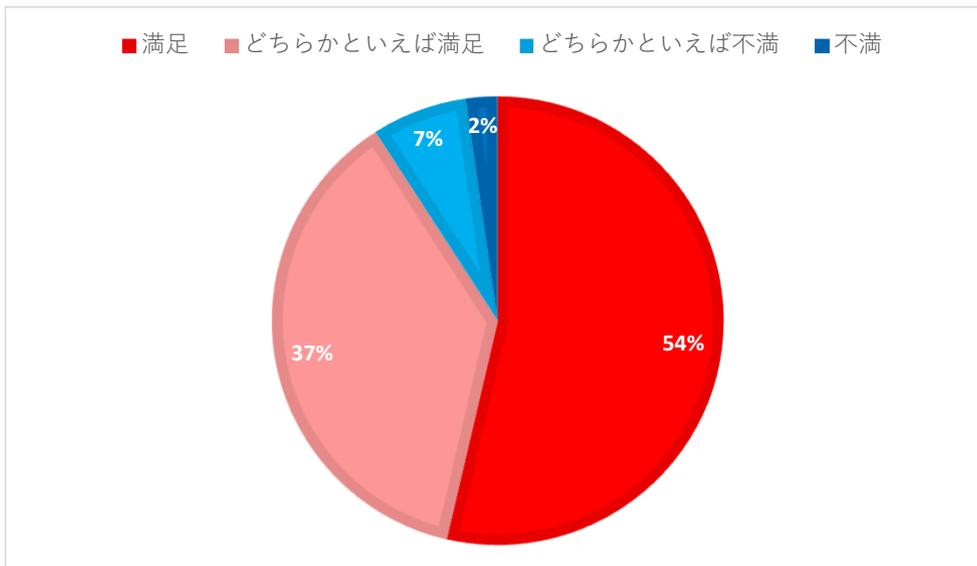
●演習



●カリキュラム全般



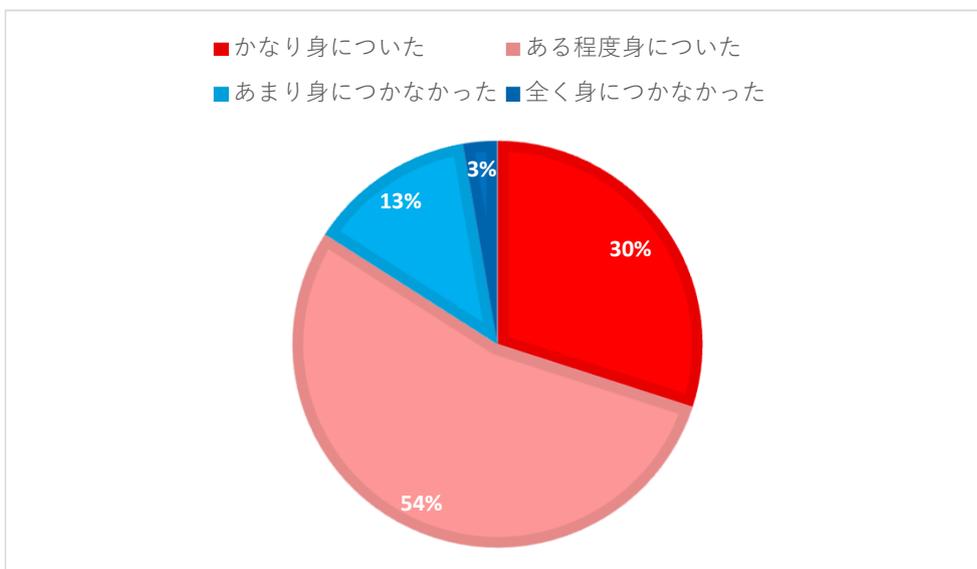
●就職活動支援



Q5.次にあげる能力について、大学入学時と比べてどの程度身についたと思いますか？

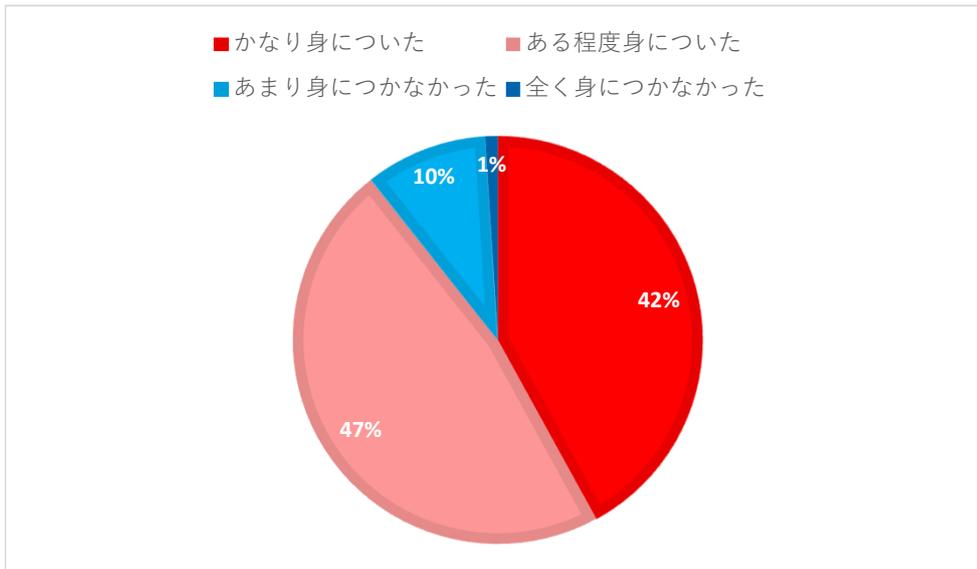
●幅広い教養：

多様な文化、歴史および自然に関する幅広い教養と外国語を身に付けて、持続可能な地球社会の形成に主体的に関与できる能力



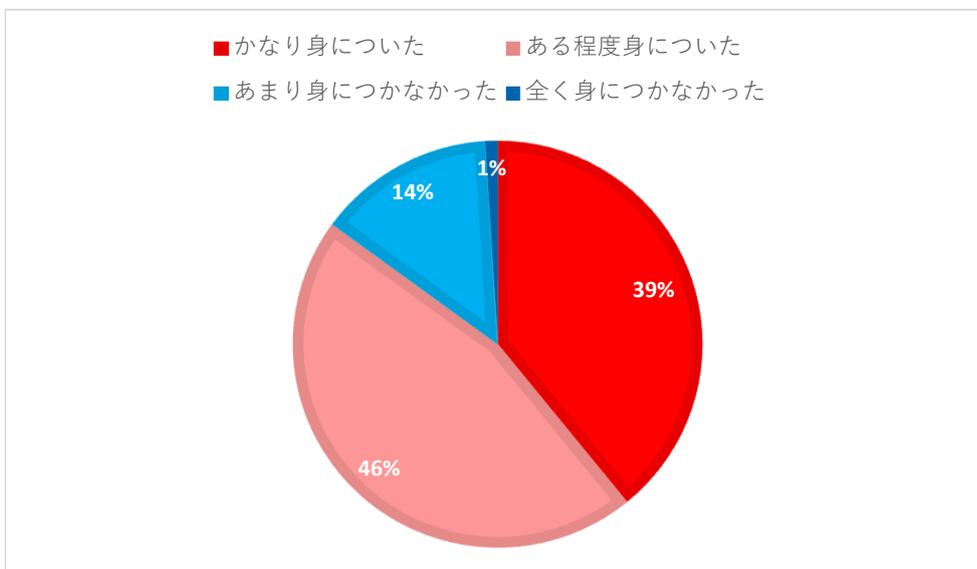
●専門知識：

現実の社会問題に触れながら、法と政策に関する専門知識を適切に習得し、社会を多角的に考えることができる能力



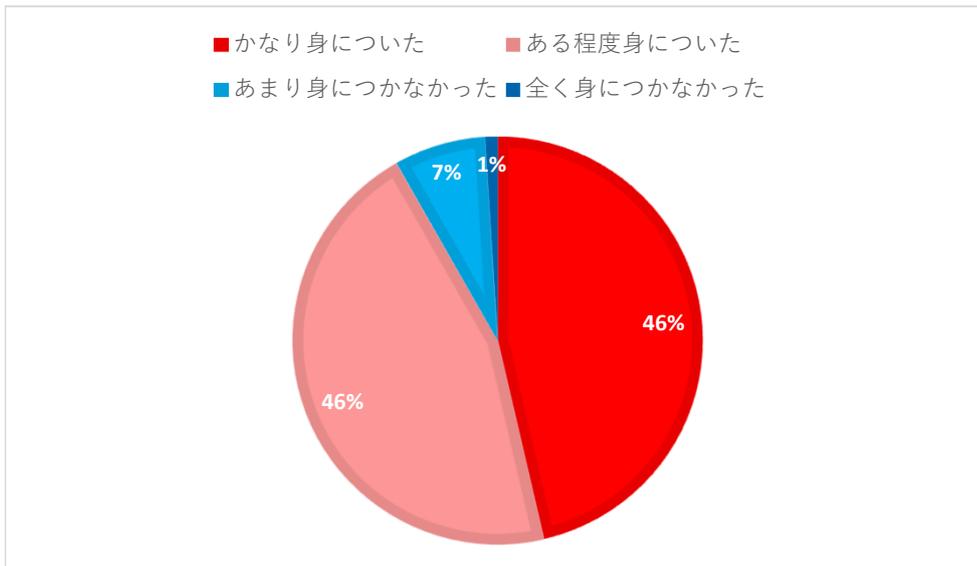
●専門知識の活用力：

法と政策に関する専門知識と思考方法を活かし、社会における諸問題を発見し、課題の本質を考察して解決に導くことができる実践的能力

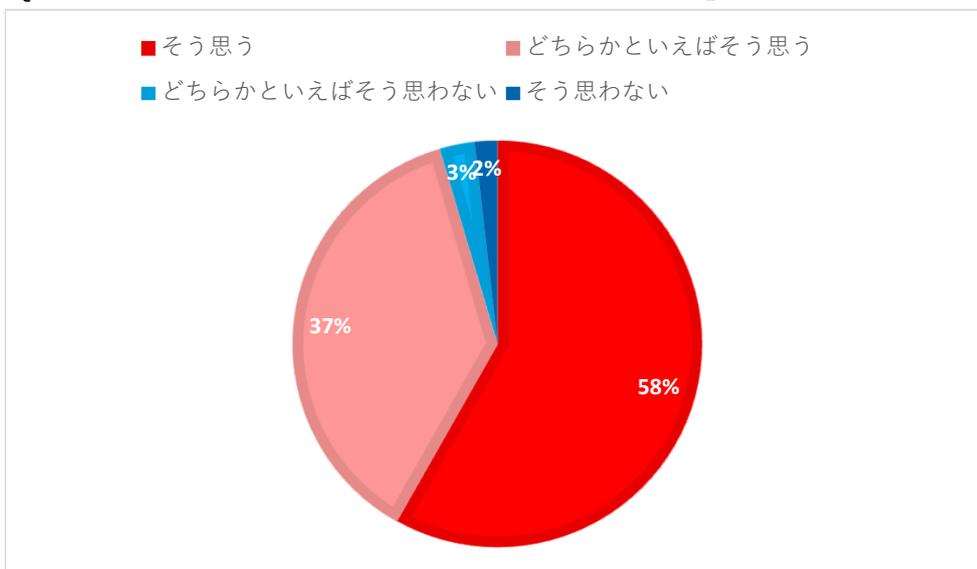


●総合的な判断力と行動力：

問題解決に必須の論理的思考とコミュニケーション力に裏付けられた総合的な判断力と行動力



Q6.入学前と比較して、「東京経済大学はよい大学だ」という思いは強まりましたか？



【分析】

現代法学部は、2024年9月2日から9月30日、2025年3月3日から3月31日にかけて、2024年度現代法学部卒業生に卒業時アンケートを実施した。総回答数は、220件であった（卒業生全体に占める割合は、89.4%である）。本アンケートの主たる目的は、卒業時における学生の「満足度」を図るとともに、4年間の学習での「達成度」を可視化することである。後者の「達成度」について、現代法学部のディプロマ・ポリシーに準じたかたちで、それぞれアンケート調査を行っている。以下では、総合的な「満足度」について検討した上で、ついで「達成度」について分析を試みる。

総合的な「満足度」については、①学部の専門分野〔法律、政治・行政〕にかかる教育、②総合教育科目にかかる教育、③演習、④カリキュラム全般および⑤就職活動支援の5項目に細分化して、調査を行った。各調査項目につき、「満足」と「どちらかといえば満足」を合計すると、①96%、②95%、③86%、④95%および⑤91%となり、概ね満足度が得られていることが示された。

4年間の学習での「達成度」については、現代法学部のディプロマ・ポリシーに準じて、①幅広い教養（DP1）、②専門知識（DP2）、③専門知識の活用（DP3）および④総合的な判断力と行動力（DP4）の4つの項目につき、アンケートを実施した。

①幅広い教養（DP1）については、「かなり身についた」、「ある程度身についた」を合計すると、84%であった。

②専門知識（DP2）については、「かなり身についた」、「ある程度身についた」を合計すると、89%であった。

③専門知識の活用（DP3）については、「かなり身についた」、「ある程度身についた」を合計すると、85%であった。

④総合的な判断力と行動力（DP4）については、「かなり身についた」、「ある程度身についた」を合計すると、92%であった。

以上の結果から、卒業時アンケート回答者は、総じて高い満足度を得ており、また、4年間の学習での達成度についても、比較的高い成長実感をもっていたことが示されていることから、現代法学部のディプロマ・ポリシーは、目的を高い程度で達成したものと評価することができる。

以上